

## 第2節 各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間における環境教育の学習指導事例

### 1 国語科における環境教育の学習指導事例（第4学年）

#### 環境教育の視点とのかかわり

国語科において育成する資質・能力は、環境教育を推進する上での基礎・基本となるものである。本事例は、自然や社会、人間とのかかわり等、環境を題材にした教材文を読んだり、環境についての自分の考えを書いたりする活動を通して、環境への関心を高めるとともに、環境に対する見方や考え方を深めようとするものである。

また、児童が、本事例で身に付けた報告書の書き方を、総合的な学習の時間での発表の活動に生かせるように配慮している。

- 1 単元名 段落のつながりに気を付けて読もう  
教材名 「ツバメがすむ町」

#### 2 単元について

本教材では、ツバメというなじみの深い鳥について「ツバメの数は減っているのか」「減っているとしたら、それはなぜなのか」という問題提起から始まり、その疑問を解決するために行った二つの調査活動が扱われている。二つの調査については、それぞれ方法、結果、考察が形式段落ごとに分けて順序よく書かれており、最後に疑問に対する答えと二つの調査を行っての筆者の考えがまとめられている。問題提起、事例1、事例2、まとめという説明文の基本的な文章構造がとらえやすい書き方になっている。

本単元では、まず最初にこの文章構造を基に、「段落と段落のつながり」ということに目を向けて、書かれていることを正確に読み取らせていきたい。また、この調査内容の観点や文章構造は、表現活動にも活用することが出来る。そこで教材の読み取りの後で実際に身近な自然に目を向けたフィールドワークを行い、その経験を説明文の構造を生かした文章としてまとめさせたい。このようにテーマを決めて自然を観察し、その結果を文章にまとめる活動は、児童にとって自然に親しみを感じたり、自然について考えたりするよい機会になると考える。また、各自が書いた報告文をお互いに読み合うことで、自分では気付かなかった自然の見方に気付かせたい。

フィールドワークは、理科単元「すずしくなると」の、初秋の植物や昆虫の様子を観察する学習の中で2時間扱いで行う。季節の変化に着目した観察を行った後で、発展として学校の自然について、知りたいことや疑問に思うことからテーマを決めて、調査することにした。

#### 3 単元目標

- (1) 身近な生き物の暮らしに興味をもち、進んで文章を読んだり、調査したことや考えたことを詳しく書こうとしたりしている。  
(関心・意欲・態度)
- (2) 調査したことについて疑問、調査（内容、方法、結果、考察）、まとめをはっきりさせて書くことができる。  
(書くこと)
- (3) 教材文の内容を疑問、調査（内容、方法、結果、考察）、まとめなどの項目に即して、段落に注意しながら整理することができる。  
(読むこと)
- (4) 文章中での段落の役割を理解することができる。  
(言語事項)

#### 4 単元の指導計画・評価計画

	ア 国語への関心・意欲・態度	ウ 書く能力	エ 読む能力	オ 言語についての知識・理解・技能
単元の評価規準	・身近な生き物や環境に興味をもち、進んで文章を読んだり、調査したことや考えたことを詳しく書いたりしようとしている。	・調査したことについて疑問、調査（内容、方法、結果、考察）、まとめをはっきりさせて書いている。	・教材文の内容を疑問、調査（内容、方法、結果、考察）、まとめなどの項目に即して、段落に注意しながら整理している。	・文章中での段落の役割を理解している。
学習活動における具体の評価規準	①身近な自然に興味をもって文章を読んだりまとめたりしようとしている。 ②自分の調査したことを（読んでもらうことを意識して）進んで書こうとしている。 ③友達の作品を（伝えたいことをとらえて）読もうとしている。	①自分が調査したことについて疑問、調査（内容、方法、結果、考察）、まとめを段落ごとに分けて、（分かりやすい）報告文を書いている。 ②身近な自然や環境に対する自分の考えを（詳しく）書いている。	①教材文を（それぞれの役割をとらえて）まとまりに分けている。 ②各段落の要点を疑問、調査（内容、方法、結果、考察）、まとめなどの項目に着目して（的確に）まとめている。	①各まとまりの役割やまとまりの中での段落の役割を（既習の説明文の構成と比べて）理解している。

5 指導と評価の計画

時	主な学習活動	学習内容	評価規準・評価方法
1	<u>単元の見通しをもつ</u> ○調査活動に興味をもつ。 ○教材文を読んで感想をもつ。	○単元全体の見通し ○ツバメや調査に関心をもつこと	ア① ・発表の様子や態度の観察 ・感想の考察
2 3 4 5 6 7	<u>「ツバメがすむ町」を学習する</u> ○教材文を四つのまとまりに分けて小見出しを付ける。 ○各まとまりに書かれている内容を整理する。  ○筆者が使った書き込み用紙を想像して作る。	○文章構成 (問題提起、事例1、事例2、まとめ) ○要点のまとめ方 (内容、方法、結果、考察に即した読み取り) ○フィールドワークの方法 ○考察の仕方 ○書き込み用紙のまとめ方	ア① エ①② オ① ・発表の様子や態度の観察 ・ワークシートや書き込み用紙の考察
理科 (1) (2)	<u>テーマを決めて調べる</u> ○テーマを決めてフィールドワークの計画を立てる。  ○自分のテーマにそって学校の敷地内をフィールドワークし、調べたことを記録用紙に記録する。 (理科 9月単元「すずしくなると」において実施)   「観察の様子」	○自然に目を向けたテーマ 例：花の色、木の本数や種類、木の実の色や大きさなど ○調査方法 例：数を数える、長さを測る、拾い集める、比べるなど ○調査項目 例：色、形、数、大きさなど	ア① ・発表の様子や態度の観察 ・計画用紙、記録用紙、まとめ用紙の考察
9	○フィールドワークの結果を整理する。 ○分からなかったことを図書室で調べる。	○図鑑、事典の使い方	 「図書室での活動の様子」
10 11	<u>調べたことを報告文にまとめる</u> ○文章構成に気を付けて報告文の下書きをする。(本時) ○段落に気を付けて報告文の清書をする。	○文章構成 ○情報の取捨、選択 ○自分の考えを書くこと (結果に対する考察、自然に対する考え)	ア② ウ①② ・下書き用紙や報告文の考察
12	<u>作品を読み合う</u> ○友達の作品を読み、感想を書く。	○友達への伝えようとすることに興味をもって読むこと ○自然に対する興味・関心	ア③ ・感想カードの考察 ・態度の観察

6 本時の学習 (10 / 12)

(1) 目標

文章構成に気を付けて、報告文の下書きをすることができる。

(2) 評価規準

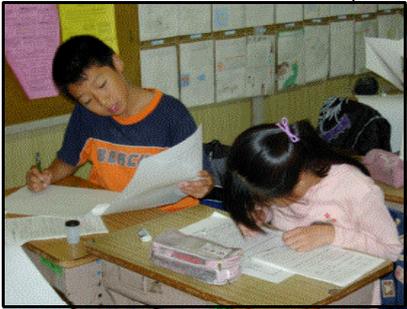
ア 自分が調査したことを基に、身近な自然や環境についての考えを詳しく書こうとしている。(関心・意欲・態度)

イ 自分が調査したことを疑問、調査(内容、方法、結果、考察)、まとめの項目に整理して書いている。

(書くこと)

(3) 展開

前時の学習内容	フィールドワークの結果の整理
---------	----------------

学習活動	学習内容	○指導 ・評価 ☆援助
1 本時の学習内容をつかむ。	○相手意識	○フィールドワークで調べたことを友達に伝えるための報告文であることを確認する。
<p>文章の構成に気を付けて、報告文の下書きをしよう。</p> <p>2 報告文の文章構成を確認する。</p>  <p>「個別学習で確認する」</p> <p>3 報告文の下書きをする。</p>  <p>「個別学習で下書きをする」</p>	<p>○文章構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問</li> <li>・調査（内容、方法、結果、考察）</li> <li>・まとめ</li> </ul> <p>○文末表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問</li> <li>・調査</li> <li>・まとめ</li> </ul> <p>～といった疑問がわいてきました。そこで～を調べてみることにしました。調べます。記録します。～が分かりました。～でした。～ようです。～が分かりました。～ようです。～でしょう。</p> <p>○書く事柄の選択</p> <p>○項目ごとに段落を変えること。</p> <p>○項目に合った文末表現を選んで書くこと。</p>	<p>○教材文「ツバメがすむ町」の読み取りをした際の文章構成を思い出させる。</p> <p>○「ツバメがすむ町」で使っていた項目ごとの文末表現を振り返る。</p> <p>○文章構成を上にした下書き用紙を用意する。</p> <p>○報告文の文章構成と自分がフィールドワークをした時の計画用紙・調査結果のまとめ用紙を対比させ、どんな順序で何を書けばよいのかをイメージさせてから取り組ませる。</p> <p>○結果の部分には、疑問に対する答えだけでなく、調べたことをできるだけ詳しく書かせ、それを考察に生かすようにさせる。</p> <p>○結果の中にいくつかの項目がある場合は、内容によって段落を変えるよう助言する。</p> <p>○考察は、結果全体を振り返り、考えられることやなぜそういう結果になったのかという理由を自分なりに考えて書かせる。</p> <p>○まとめには、調べた内容に対することや、学校の自然に対する考えを書かせる。</p>
	<p>&lt;評価（・）と手立て（☆）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が調査したことを基に、身近な自然や環境について考えを詳しく書こうとしている。（下書き用紙）</li> <li>・疑問、調査（内容、方法、結果、考察）、まとめの項目に整理して自分の調査したことを書いている。（観察、下書き用紙）</li> </ul> <p>☆項目ごとに整理して自分の調査したことを詳しく書いている児童は称賛し、さらに結果のまとめ方を工夫したり、自然や環境に対する考えも書いたりできるように助言をする。</p> <p>☆自分の調査したことを項目ごとに簡単に書いている児童には、結果の中に、疑問に対する答えだけでなく調査の中で気付いたことも書かせ、それを考察にも生かすように助言をする。</p> <p>☆項目ごとに整理して書けない児童には、調査の計画用紙、結果のまとめ用紙にもどって、何をどの項目に書いたらよいか確認させる。</p>	
4 次時の学習への見通しをもつ。		○次の時間には下書きを見直し、報告文を清書することを知らせる。

次時の学習内容	下書きを見直し、報告文を清書する。
---------	-------------------

7 資料

《フィールドワークの記録用紙》

アメリカハナズミ イチョウ  
形:丸くてくるくるしていた 形:ハトかたい  
手:つるつる長さ:10cm 手:ちとさささ  
色:黄色と赤色がまじって 色:緑 長さ:5cm

イヌツゲ ウワミズサツラ  
形:小さくて丸い 形:さざさして  
手:ちとさささ 手:さささ  
色:黄色と赤色 色:赤 長さ:5cm

カリン ユズリハ  
形:ひげひげ色:赤 形:ほそなついで  
手:つるつる長さ:9cm 手:つるつる 色:赤 長さ:20cm

モシモシ ネズミモチ  
形:ほしめたい 形:ふつふつ葉が  
手:さささ 手:さささ  
色:赤 長さ:5cm 色:赤 長さ:5cm

《報告文の下書き用紙》

調査	方法	内容	はじめ	書くこと
調査 調べたこと 調べたこと	方法 どうやって 調べたか	内容 調べたこと 調べたこと	はじめ 調べたこと 調べたこと	書くこと 調べたこと 調べたこと
<p>西小には、木がたくさんあります。木があるから葉っぱもたくさんあります。それをみてみるうちに西小にはどんな木があるのかわかりました。</p> <p>そこでわたしは、西小にある木の葉っぱの大きさを調べてみることにしました。</p> <p>学校の歩道を歩いていろいろ葉っぱをさがしました。ものごとをその葉っぱの大きさを測り、その色を記録します。その他に手ざわり、色、形、木の名前、どこにあるかなどを記録用紙に書きます。</p>				

まとめ	調査	書くこと
まとめ 調べたこと 調べたこと	調査 調べたこと 調べたこと	書くこと 調べたこと 調べたこと
<p>学校には、いろいろな木があります。よく見るとみなちがうところがあります。それに、学校には何十種類の木がうえてあります。自然がたくさんあると気持ちがいいなと思いました。</p> <p>小さい葉っぱが池の近くに多いのは、たぶん日あたりがよくて、とてもいい場所だからだと思います。</p> <p>まじか20cmぐらいの葉っぱは、ななつうつと風で飛ばされたが、20cmぐらいのユズリハの葉っぱが、あてびんくりました。</p>		

調査	書くこと
調査 調べたこと 調べたこと	書くこと 調べたこと 調べたこと
<p>めだか調べた中で一番大きかったのは、ゆずりはの葉っぱで、長さ20cmありました。形は、卵長くて、手ざわりはつるつるしていました。色は黄色でした。</p> <p>イチョウは長さ84cmで形がハトみたくて、手ざわりがなめらかで、サラサラで色は緑色でした。</p> <p>モシモシは長さ45cmで、形が星みたいでした。手ざわりがちとざらざらしていて色は緑色でした。</p> <p>アメリカハナズミは長さ10cmで形は丸くてくるくるして、また手ざわりはツルツルで色が黄色と緑でした。</p> <p>ゆずりはの木は、校門近くだけではなく、保健室近くにもあることがわかりました。池の近くに小さい葉っぱが多いことがわかりました。イチョウの木が多かったのは、つぎ山でした。</p>	

8 報告文の書き方が生かされた例

《総合的な学習の時間「クリーン大作戦」の発表原稿》

ごみや環境の問題について考えた「クリーン大作戦」の発表会の際には、報告文の書き方を生かして、発表原稿を作成した。きっかけ、実際の活動、分かったこと、生活に生かしたいことなどの項目ごとに発表することをまとめた。

タイトル	内容
タイトル	ゴミがおもちゃにへんしん
きっかけ	わたしたちは「ゴミがおもちゃにへんしん」というテーマで活動しました。このテーマをえらんだきっかけは、ゴミについて勉強して、しげん回収以外にも、いらなくなったものを他のものに作りかえるリサイクルの方法があることを知り、自分たちもやってみようと思ったからです。
実際の活動①	実際の活動では、いろいろなものを使っておもちゃを作ってみました。これは「けん玉」です。空きかんとかチャガチャのカプセルを使って作りました。これは「くじ引き」です。空きかんを使って作りました。すきなひもを引っ掛けて、印がついているひもだったら当たりです。これは「ウォーターゲーム」です。空きびんの中にモールや空きかんを細かく切ったものと水を入れて作りました。上下逆にすると、中身がキラキラ落ちてきてきれいです。これは「まんげきょう」です。空きかんといらなくなったかみを使って作りました。

実際の活動①	実際の活動②	分かったこと	生活に生かしたいこと
実際の活動①	実際の活動②	分かったこと	生活に生かしたいこと
<p>中をのぞきながら回すと、もようがいろいろ変わって見えます。</p> <p>他にもいろいろ作ってみました。</p> <p>次にどうしたらゴミがへらせるか、わたしたちにできることを考えてみました。</p> <p>① 買い物ぶくろを持っていく。</p> <p>② いらなくなったものも工夫して使う。</p> <p>③ 食べ残しをしないで生ごみをへらす。</p> <p>④ つめかえ用のものを使う。</p> <p>⑤ 必要なものを考えて買う。</p> <p>⑥ いらぬ服はフリーマーケットに出したり、切ってお皿をぶくののに使う。</p> <p>活動してわかったことは、いらなくなったものも、リサイクルすれば、おもちゃや生活に役立つものになるということです。そう思うと、いらなくなった物の中に使えるものがたくさんありました。</p> <p>これからは、ゴミをできるだけ出さないようにして、おもちゃや生活に使えるものに変えていきたいと思っています。</p>			